



女は文系。



男は理系。

お母さん、お父さん、そんな「思い込み」を持ってはいませんか。「男女の脳にそんな違いはない」という研究結果も多数あり、性差よりも、個人差のほうが大きいと言われます。しかし、親や周囲の大人たちが抱く先入観や押し付けが、子どもの未来を狭めてしまうことがあります。この世界の約半数は女性です。しかし理工系の学生や職場は、まだ男性が多数。仮に人工知能(AI)も男性が入力したデータだけで構築されれば、偏った答えばかり導き出すでしょう。無意識の偏見が払拭され、理工系を目指す女性が増えてくれたら、女性がもっと生きやすく、活躍しやすい社会がやってくるはずです。

芝浦工業大学は、「未来を担う理工系女性技術者の育成」のため、2022年度学部入学者から100人を超える成績優秀な女子入学者へ、入学金相当(28万円)を奨学金として給付します。日本における工学系学科の女子学生比率は15.6%(文部科学省学校基本調査令和2年度)と、世界と比較しても低水準です。「教育も研究も、ダイバーシティの中でこそイノベーションが生まれる」という考えのもと、現在の学部女子学生比率18.7%から、2027年の設立100周年には30%以上へ引き上げることを目標として、取り組んでいます。今回の奨学金給付により、女子生徒の理工系進学を支援し、芝浦工業大学が目指すグローバル大学へ前進していきます。

芝浦工業大学はひとりでも多くの
女性学生を求めています。



芝浦工業大学
SHIBAURA INSTITUTE OF TECHNOLOGY

